

Title	ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年
Sub Title	Diary of a New York farmer, 1850
Author	岡田, 泰男
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1972
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.65, No.6 (1972. 6) ,p.429(65)- 443(79)
JaLC DOI	10.14991/001.19720601-0065
Abstract	
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19720601-0065

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

(追記)

本稿執筆後、次の論文を知った。Kew, J., 'The Disposal of Crown Lands and the Devon Land Market, 1536-58', *Agricultural History Review*, vol. 18, pt. 2 (1970), pp. 93-105. 私的土地市場の展開を実証的に確認するという正当かつユニークな手続きを経た後 Kew が得た結論のうち、さしあたり興味深いのは次の二点である。1) 旧修道院領を中心とする王領地売却は、土地市場全体の半分以下である。このことが「何故短期にあのように多量の修道院の土地を吸収しえたか」を説明する。2) 王領地処分は私的土地市場成長の刺激となった。私的土地市場について実証できなかったわれわれの結論は説得力を欠くとはいえず、北東部の例によって示したかったことの一つは、(例えば Devon と較べて) 私的土地市場展開度の低さが、政治的等の要因と相まって、王領地「吸収」の規模と経路に一定の限界を設けたこと、この限界が翻って、王領地処分の土地市場全体に与える「刺激」の大きさと方向に限界を設けたこと、である。

(大学院経済学研究科博士課程)

資料

ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

岡田 泰 男

農民の日記が、農業史の貴重な史料であることはいりまでもない。もちろん、日記をつけていた農民は例外的であって、そうした史料から、平均的農民の姿を描き出すことは困難かもしれない。しかし、農民の日常生活を知らせてくれる点で、日記は、旅行記、新聞雑誌記事、農業協会報告書などに比べ、はるかに重要である。私は先に、あるニュー・ヨーク州の農民の約20年分の日記を利用して論文を書いたが、わが国ではまだアメリカ農民の日記そのものが紹介されたことはないし、また、私の利用した日記が公刊される見込みもないので、以下に1年分(1850年)のみを取り上げ、訳出してみた。日記の筆者は当時オスウィゴ郡(Oswego)に住んでいたフランシス・スクワイアーズ(Francis W. Squires)であり、1850年には30歳の農民であった。彼および彼の農場については、前記の論文を参照されたい。なお、彼の日記には当然のことながら、天候についての記載があり、「朝のうち曇、午後は一時晴れて北西の風、夜に入ってから雪がちらつく」という類の詳細な記入がなされているが、あまりにスペースをとりすぎるので、残念ながら天気の記事は割愛した。

1月2日

木材3台分(load)をメリアム(Merriam)へ、1台分

をランサム(Ransom)へ運び、留め金⁽²⁾を買う。

1月3日

木材3台分を、メリアムのため、ポタッシュ⁽³⁾(potash)製造場へ運ぶ。あらびき粉を持ち帰る。

1月4日

木材3台分をメリアムのため、ポタッシュ製造場へ運ぶ。総量は6コード(cord)で、1コードあたり9シルである。また、メリアムのため、4台分⁽⁴⁾(2³/₅コード)を、アレン(Allen)の所へ運んで帰る。14シル。

1月7日

丸太7本をゴードン(Gordon)の製材所へ運ぶ。2.14フィート。

1月8日

ウィラード(Willard)夫婦と一緒にオスウィゴへ行く。りんご3ブッシェルを持ってゆき、ブッシェルあたり3シル6ペンスで売る。また、じゃがいも2ブッシェルを、ブッシェル3シル6ペンスで売った⁽⁵⁾。

1月9日

丸太5本を製材所へ運ぶ。14フィート。

1月10日

乾草1/2トンをウィルソン(Wilson)へ、また1,100ポンドをメリアムへ運ぶ。価格はトンあたり7ドル。木材2台分を運ぶ⁽⁶⁾。

注(1) 岡田泰男「一農民の日記より見たるニュー・ヨーク農業の変遷」(『三田学会雑誌』64巻8号)日記の原本は、Squires' Diary (MSS), Collection of Regional History, Cornell University である。

(2) 木材1台分とは、馬そりに1台分のことである。メリアムは、日記筆者の住んでいたニュー・ヘイヴン(New Haven)の商人の名。

(3) ポタッシュは木灰からつくったカリで、ガラスや石けんの製造、染色に利用されると共に、羊毛の洗浄剤として多く使われた。

(4) コードは木材の単位。長さ4フィートの材木が、幅8フィート、高さ4フィートに積上げられた1山が、1コードである。重さにすれば2トンから2トン半になり、馬2頭でひく馬そりの1台分から2台分にあたる。なお日記の中の貨幣計算は、シリリングとドルとが併用されており、1シルは12.5セントに等しい勘定になっている。

(5) ウィラードと日記筆者とは兄弟で、共に父の家に住んでいる。オスウィゴは、彼等の農場から10マイルほど離れたところにある町である。

(6) ウィルソンは商人の名。

- 1月11日 楓の木の丸太を切る。父は樺の木 (oak) の丸太を板張道路の近くへ、木材を家へ運んだ。
- 2月5日 木を伐る。
- 2月6日 木材, 3, 4 台分を運ぶ。
- 2月7日 木材 7 台分を運ぶ。
- 2月8日 父と一緒にオスウィゴへ行き、ジャがいも 4 ブッシュェルを、ブッシュェルあたり 3 シル 9 ペンス, バター 7 $\frac{1}{4}$ ポンドを、ポンドあたり 14 セント, 豆 $\frac{1}{2}$ ブッシュェルを、ブッシュェルあたり 8 シルで売る。
- 2月9日 ネルソン (D. Nelson) との勘定を清算する。
- 2月15日 2 $\frac{1}{4}$ コード分の薪木用の生木を切る。父とウィラードが割って積み上げた。
- 2月21日 丸太を割る。父は 3 台分をハワード (Howard) の所へ運ぶ。
- 2月22日 3 $\frac{1}{4}$ コードの丸太を切り、割る。父は 3 台分を製材所へ運ぶ。
- 2月23日 丸太 1 台分を運ぶ。
- 2月25日 丸太を切る。
- 2月27日 今日樺の木 (birch) の丸太を切る。父は木の先の方を切る。
- 2月28日 楓の木 (maple) の丸太を切る。父は丸太を板張道路 (plankroad) の近くまで運んだ。
- 3月1日 木を切る。
- 3月2日
- 3月4日 楓の木の丸太を切る。カラ (Curran) が手伝ってくれる。父は丸太を 2 台分と木材を運ぶ。
- 3月5日 本日、タウン・ミーティング。
- 3月6日 父はオスウィゴへ、ジャがいも 2 ブッシュェル (ブッシュェルあたり 3 シル 7 ペンス) と、バター 4 $\frac{1}{4}$ ポンド (ポンドあたり 15 セント) を売りに行く。くず小麦 35 ブッシュェル、重さ 18 ポンド、ポンドあたり 8 セントで買ってくる。
- 3月7日 学校は昨日で終了。12週、週 2 ドルで給食つき。ウィラードと一緒に昨日も今日も丸太を切る。
- 3月8日 しなの木 (bass) の丸太を切る。父は午前中は丸太、午後は板や切れはしを、下の林から運んだ。
- 3月9日 ウィラードと私は樺の木の丸太を切る。父は丸太を運び、板張道路の氷をどけるのを手伝った。
- 3月11日 樽ふた、底板用のしなの木の板を、グリッドレイ (Gridley) の所に運ぶ。木を切る。
- 3月12日 下の林で、丸太用のつがの木 (hemlock) を切る。
- 3月13日 ウィラードと、しなの木の底板 1, 137 枚を家へ運ぶ。
- 3月14日 休作地 (fallow) で木を切る。とねりこ (ash) の底板を切る。
- 3月15日 丸太を切る。
- 3月16日 糖蜜 2 クォートを作る。とねりこの底板を切り、休作地で、つがの木を切る。父はダムの仕事を手伝う。
- 3月18日 馬小屋へ乾草を運ぶ。

注(7) 日記筆者は、樽の製造にも従事しており、ここで割っている丸太はその材料である。
 (8) 板張道路は、長さ 8 フィート、厚さ 3 インチ程度の板を、道に埋めこんだ枕木の上に張ったもの。道路会社のつくった有料道路で、当時ニュー・ヨーク州で盛んにつくられていた。
 (9) 当時の学校は冬期だけのもので、長くとも 20 週程度であった。
 (10) 樽のふた及び底板の部分には、しなの木や、とねりこが利用されることが多かった。

- 3月19日 ウィラードと、とねりこの丸太を選び、下の林で、しなの木を切る。
- 3月20日 休作地の丸太を選び出す。カラが手伝ってくれて、馬そりで運んでくれた。私は仕事場へ、しなの木の底板 2 台分を運んだ。
- 3月21日 朝、鎖を修理し荷車へ運び、ハワードの製材所へ、10時過ぎに、丸太 6 台分を運ぶ。場所は、板張道路近くの、カラの家の反対側。
- 3月22日 丸太 5 台分と、樽板 2 台分 (1, 733 枚) を家へ運ぶ。楓の木。
- 3月23日 丸太 3 台分と、楓の樽板 3 台分 (3, 073 枚) を家へ運ぶ。ウィラードは板を積み上げる。父は午前中、休作地で木を切り、午後は丘の上へ行った。
- 3月25日 丸太 2 台分と樽板 700 枚を家へ運ぶ。板を積み上げる。父は休作地で木を切った。
- 3月26日 父とオスウィゴへ行く。卵 5 ダース、ダースあたり 10 セント。オート麦 5 ブッシュェル、ブッシュェルあたり 3 シル。ジャがいも 2 ブッシュェル、ブッシュェルあたり 3 シル 6 ペンスで売る。
- 3月27日 丸太の最後の分 (3 台分) と、樽板 2, 749 枚を家へ運ぶ。父とウィラードは休作地で木を切る。
- 3月28日 父は、ロビンソン先生 (Dr. Robinson) の所へ木材 2 台分を戻す。1 台分あたり 6 シル。ウィラードと私は休作地で木を切る。
- 3月29日 樽用の丸太 1 台分をグリッドレイの所へ運び、樽板の最後の分 (1, 580 枚) を家へ運ぶ。合計 13, 042 枚、1, 000 枚あたり 12 シル。
- 3月30日 ウィラードと休作地でもみの木 (fir) を切る。父は樹液を煮る。カラへ乾草 600 ポンドを、(トンあたり) 9 ドルで売る。
- 4月1日 ウィラードと、しなの木の底板を少し切り、休作地で薪木をつくる。
- 4月2日 休作地から薪木を選び出す。カラが馬を連れて手伝った。7 $\frac{1}{2}$ セント。グリッドレイの所へ樽用の丸太 1 台分を運ぶ。
- 4月3日 野菜畑をすき起し。また川向うの土地を少し切り開く。野菜畑の下をグッドセル (Goodselle) の馬糞でならす。ブラウン (Brown) の雌牛を 24 ドルで買う。
- 4月4日 ウィラードはしなの木の樽材を割る。私は木を切り、馬の蹄鉄をつけてもらった。
- 4月5日 馬小屋に乾草を運ぶ。メリアムに生れて 5 週間目の子牛を 3 ドルで売る。また、ウィルソンにジャがいも 2 ブッシュェルを、4 シルで売る。川向うの土地を再び切り開く。
- 4月6日 ウィラードと私は開墾、父は少し雑用をする。
- 4月8日 ウィラードと私は開墾、クロフォード (Crawford) とカラが、われわれのためにまだ一度もすきが入っていない所を切り開いてくれた。400 ポンドの乾草をカラに売る。(トンあたり) 9 ドル。
- 4月9日 クロフォードとカラが再び、霜のとけた 8 時半から、開墾をしてくれた。ウィラードと私は、休作地で木を切った。
- 4月10日 ウィラードと私は休作地で木を切り、開墾をした。ジョンソン (Johnson) から、本を 5 ドル分買う。
- 4月11日 ウィラードと休作地で木を切り、父は納屋で木を切る。グッドリッチ (Goodrich) から厚板を買う。楓の厚板、5 シル。
- 4月12日 グリッドレイの所から、1, 080 枚の底板を運ぶ。(内 640 枚は、とねりこ) 12 シルと 2 ドル。
- 4月13日

注(11) 樽板は、樽の胴の部分に使うもの。これから後、何ヵ月か乾かしてから、樽つくりにかかる。
 (12) ロビンソン先生は、ニュー・ヘイヴンの医者。
 (13) 樹液を煮る、とは砂糖楓の樹液を煮て、メイプル・シロップをつくっているのである。

午後オスウィゴに行く。カランは馬を連れてきて、ウィラードが丘の上を切り開くのを手伝った。父は林の横の柵をなおす。

4月14日

父と1日中教会へ行く。

4月15日

カランが手伝って、ウィラードは開墾作業を今日で終える。乾草半トンをA・ハワードに、トンあたり10ドルで売る。

4月16日

昨日グレンビー(Granby)の村へ行く。ギルフォード(Guilford)に靴の代金を払う。馬の売買に多くの人に来ていた。

4月17日

午前中、家の修繕をする。午後、ウィラードと休作地で木を切る。

4月18日

午前中、休作地から木を運び出す。ウィラードと休作地で木を切る。

4月19日

ウィラードと川向うに横木を運び、開墾をした部分に柵囲いをする。父は野菜畑に肥料を運ぶ。

4月20日

ウィラードと肥料を運び、畑の下の側へ、じゃがいもを11列植える。丘の上へ肥料をまく。ウィラードは木を移植する。

4月21日

くるみの木(walnut)を茂みから抜いて道にそって植える。子馬と当才駒を川向うの開墾した土地に移し、日に1度飼料をやる。

4月23日

家の修繕をする。

4月24日

父とウィラードは、オスウィゴへ7½ポンドのバターを持ってゆき、ポンドあたり14セントで売る。穀物くずとしっくいを買って戻す。

4月25日

父と私はオスウィゴへ行く。乾草1,380ポンドを、ジョージ・エイムズ(Geo. Ames)に100ポンドあたり8シルで売る。ワイマン(Weiman)から、小麦粉1樽を5ドルで、ティモシイ(Timothy)の種子1級品½ブッシェルを、ブッシェル3ドルで買う。道路は次第に

埃っぽくなってきた。⁽¹⁵⁾

4月26日

子馬、当才駒に乾草を与えるのを昨日からやめる。但し、穀物くずを日に1回与える。南側の畑へ肥料24台分を運ぶ。

4月27日

ウィラードと南側へ肥料11台分運ぶ。畑に、じゃがいもを14列植える。ピアース(Pierce)に300ポンドを、100ポンドあたり4シルで売る。

4月29日

休作地で少し木を切る。強風が吹いて柵がたおれた。

4月30日

午前中、休作地で木を切る。午後、荷車1台で、10台分の肥料を南側へ運ぶ。地面はしめっている。

5月1日

屋根板材料を林から運び、納屋にしまう。

5月2日

ウィラードと南側の畑に50台分の肥料をまき、雑用をする。父とオスウィゴに行き、32ポンドのバターを、ポンド14セントで売る。種小麦1ブッシェルを、ブッシェル12シル、1½ブッシェルのえんどう豆を、ブッシェル7シルで買う。

5月3日

軽い霜がおりた。10時まで檜板を運び、南側の畑を1エーカーすきで耕す。野菜畑のじゃがいも植付けを終える。

5月4日

オート麦を¾エーカー種まきし、馬糞でならず。南側の畑。

5月5日

牛に、乾草と穀物くずを日に1回与える。牧草がよく育っている。

5月6日

ウィラードと丸太12本運ぶ。北側の土地で木切れを捨てる。バーンズ(Burns)から、石けんをつくるための釜を借りてくる。

5月7日

ウィラードと北側の土地で木切れを捨てる。ウィラードは休作地で木を切り、父は丘の上へ行き、馬に蹄鉄をつけてもらう。

5月8日

注(14) 冬の間、家畜を小屋の中へ飼っておくが、春になると放牧するのである。

(15) ティモシイは牧草の1種。

木材1台分を製材所から運び、納屋にしまう。雑用をする。

5月9日

家畜小屋の前庭の塀をどけて横木をおき、柵を動かして、前庭から牧草地へ家畜が行けるようにした。板の残りを運ぶ。3台分あった。全部で2,146フィート。その内、1,100フィートは12フィートの板。残りは柵用の板である。

5月10日

えんどう豆1½ブッシェルと、オート麦2ブッシェルを、川の南側の芝土のところへまき、馬糞でならず。ウィラードは休作地で木を切る。

5月11日

南側の土地へ小麦1ブッシェルをまき、馬糞でならず。ウィラードと休作地で木を切る。

5月13日

クロフォードのため馬糞でならず。父はピアースの所へ行き、ウィラードは休作地で木を切る。ロレンゾ・グッドリッチ(Lorenzo Goodrich)に、生れて4週間目の子豚2匹を、1匹10シルで売る。

5月14日

晴れて暖かく、植物の成長が盛んである。デイヴィッド・フィールド(David Field)へ、子豚1匹10シルで売る。野菜畑の下の1¼エーカーを約7時間、13ロッドの長さをすき起す。畑に西瓜の種をまく。⁽¹⁶⁾

5月15日

午前中、豚糞の肥料を3台分運び、とうもろこし畑へすき込む。午後、畑の下へ、とうもろこしを28列植え、肥料をやる。

5月16日

畑の下に、とうもろこし植付け終える。1¼エーカー。うねに肥料3台分やる。

5月17日

午前中はウィラードと休作地で木を切り、午後、作業場で働く。⁽¹⁷⁾

5月18日

川の南側に柵をつくる。

5月20日

父はオスウィゴへ。じゃがいも4ブッシェル、ブッシェル4シル3ペンス、バター14ポンド、ポンド1シルで売る。メリアムのため積荷を持ち帰る。ウィラードと私は休作地で木を切る。桃、すももの花が満開で

ある。

5月21日

午前中、ウィラードと芝土の土地から木切れを運び、そこを馬糞でならず。父とウィラードは休作地で木を切る。

5月22日

クロフォードの手伝いをする。家族の者は畑へじゃがいもを植え始めた。土地の東側へ柵の柱をたて、壁用の石を少し並べた。

5月23日

柵の木と石を、父と運ぶ。私はクロフォードのため馬糞でならず作業をした。ウィラードは東側の壁をつくる。ピアースに子豚2匹を1匹10シル6ペンスで売る。

5月24日

雨降りなので作業場で働く。

5月25日

石を運び、クロフォードのため馬糞でならず。家畜小屋の間をすきで耕す。父はキャベツの種をまき、ウィラードは壁をつくる。

5月26日

父はピアースの所へ行く。ウィラードと私は丘の上へ行く。ウィラードは東側の壁を完成する。5ロッド3½フィート。私は石を運び家畜小屋の間へとうもろこしを植えるのを手伝った。

5月28日

なしの花が満開である。ウィラードと私は北側の土地を切り開き、私は芝土を馬糞でならず。父とウィラードはそこへじゃがいもを植える。

5月29日

芝土のところを馬糞でならず。家族の者はそこへじゃがいもを植え、私はそれを手伝う。

5月30日

芝土を馬糞でならずし、家族の者がそこへ、じゃがいも、とうもろこしを植えるのを手伝った。野菜畑の下のとうもろこしは芽を出し始めた。

5月31日

グッドゼルに、芝土を馬糞でならず作業をやり終えてもらう。私は家族の者が、古い根をほり、植付けするのを手伝った。

6月1日

注(16) 1ロッドは16½フィート。

(17) 作業場とは、主に樽つくりのための作業場のことである。農場内の小屋、または納屋の一隅かもしれない。

丘の上へ行き、家族の者がじゃがいもを植えるのを手伝う。芝士のところの、とうもろこし植付けを終える。約70ロッド。りんごの花が満開できれい。芝士の土地4エーカー、および約2エーカー半はじゃがいも、1/4エーカーはオート麦とえんどう豆、とうもろこしは70ロッド。

6月3日

芝士の土地2エーカー半にじゃがいも植付け終了。夜になって、とうもろこしの種まきのため、肥料4台分をまく。

6月4日

午前中、南側へとうもろこしをまく。30ロッド。また馬糞でならず。ブラウンが休作地を焼くのを手伝う。今は、りんごの花が満開だ。

6月5日

父と8頭の羊の毛を刈る。羊毛の重さは次の通り。5ポンド10オンス、3・9、3・4、3・2、3・0、2・12、2・12、2・8。最初のは雄羊である。休作地を焼く。

6月6日

父とウィラードは野菜畑で働く。

6月7日

午前中、フラー (Fuller) のため馬糞でならず。ウィラードと一緒に休作地で木を切る。父は、とうもろこしが虫にやられてしまったところに、豆をまいた。

6月8日

B (ブラウン) の家の者、ウィラードと一緒に東側に木の柵をつくる。フラーが馬を連れてきて手伝ってくれた。父は、じゃがいも畑の手入れをする。

6月10日

ウィラードと休作地で木を切る。作業終了。

6月11日

丸太を運ぶ。C・ネルソンとL・グッドセルが馬で手伝う。丸太の山が18できた。父はじゃがいもの手入れ。

6月12日

われわれの土地とグッドセルとの間に、丸太で柵をつくる。カランが馬で手伝う。野菜畑のじゃがいもの手入れを終え、とうもろこし畑の除草を少しする。

6月13日

丸太を運ぶ。L・グッドセルは馬で手伝う。2日間で終え、12シル。2日間に、2エーカーの土地に、丸太の山が20できた。

6月14日

グッドセルとの間の柵を、ウィラードと完成させる。

休作地の木切れをひろう。父は休作地で、丸太の山の間に、とうもろこしを植えた。

6月15日

休作地にとうもろこしを植え、6時頃に終える。カランが手伝う。約1エーカー半植えた。

6月17日

野菜畑の下のとうもろこしの除草。

6月18日

ウィラードと道普請。父はとうもろこし畑の除草。ティモシーが芽を出しはじめ、クローバーは、花が開いてきれいだ。にせアカシアの木が花をつけ始めた。

6月19日

午前中、ウィラードと道普請、午後は仕事場で働く。父はとうもろこし畑の除草。昨日メリアムから、樽のたがを1,000本、3ドル50セントで買った。

6月20日

ウィラードと一緒に、樽を8個つくる。父はとうもろこし畑の除草。今日15日に新しく耕した土地に植えたとうもろこしが芽を出した。

6月21日

ウィラードと、樽を20個つくる。父は野菜畑の下のとうもろこしの手入れを終え、芝士の土地で除草。

6月22日

ウィラードと、樽を18個つくり、底板を半分はめる。父は、新しく耕した土地に、とうもろこしを植え、除草を少しする。

6月23日

畑のとうもろこしは、高さ2フィート以上のものもある。

6月24日

ウィラードと、樽を18個つくり、底板をはめる。父は新しい畑へとうもろこしを植え、芝士の畑のとうもろこしを除草。

6月25日

父はオスウィゴへ、9ブッシュェルのオート麦を持ってゆき、41セントで売る。オリヴァー (Oliver) へ、子羊5匹を9¹/₄シルで売る。現金売り。ウィラードと樽を16個つくり、その内9個は私のつくった分。

6月26日

ウィラードと樽を15個つくり、その内8個は私の分。父は芝士の畑のとうもろこしを除草。

6月27日

ウィラードとオスウィゴへ樽を95個持ってゆき、パディー (Pardee) へ1個20セントで売る。父は野菜畑

のじゃがいもを、2度目の除草。野菜畑の下へとうもろこしを植える。

6月28日

野菜畑のじゃがいもの2度目の手入れを終えた。中には、花をつけているものもある。父と、芝士の畑のとうもろこしに灰をまいてやる。

6月29日

父は野菜畑と、家畜小屋の間の土地を除草した。私は乾草のところから肥料を出す。また、川沿いの土地の雑木の柵をなおし、夜になる前に馬に蹄鉄をつけてもらう。ウィラードは狩りに行き、しまりす7匹をとった。

6月30日

畑のえんどう豆が花をつけ始めた。

7月1日

芝士の畑のじゃがいもの除草。除草が一度だけで良いように念入りにする。

7月2日

父はオスウィゴに卵29ダースを持って行き、ホイットニー商店 (Whitney & Co.) で、1ダース11セントで売る。小麦粉を小さな袋に2袋、49ポンド買う。3ドル。両方とも現金取り引き。ウィラードと私はじゃがいも畑の除草。

7月4日

ティモシーは花をつけ、先月15日に植えたとうもろこしは、16インチにまでのびた。芝士の畑の南側、グッドセルの土地に隣りあわせた部分のじゃがいもを除草。野菜畑の下のとうもろこしは茂って、高さ3フィート8インチほどのものもある。

7月5日

芝士の畑のじゃがいもを除草する。父は午後、教会の会合に行き、牧師館に15ドル払う。お金を借りる。

7月6日

父とウィラードは野菜畑の下のとうもろこしの除草をし、また、とうもろこしを真っ直ぐに立ててやる。父は芝士畑のじゃがいもを少し手入れする。小麦とオート麦が穂を出しはじめ、さくらんぼは、そろそろ熟れている。

7月7日

新じゃがいもを掘ってみる。中にはくるみ位の大きさのものもある。

7月8日

芝士畑のじゃがいもの除草。野菜畑の下のとうもろこしは、高さ5フィートのものもある。西瓜が花をつけ始めた。ホワイト・デイジー (white daisies) を少し掘る。きゅうりが花をつけた。

7月9日

午前中、芝士畑のじゃがいもの除草を終え、午後とうもろこしの2度目の除草。新しく耕した畑のとうもろこしは、高さ2フィートから2フィート半。

7月10日

ウィラードとホワイト・デイジーを掘り、積み上げておく。大納屋の横と北側の方で少しばかり乾草刈りを始める。父は野菜畑の下のとうもろこしの2度目の除草。

7月11日

父と野菜畑の下のとうもろこしの除草をし、乾草を運び、まとめる。

7月12日

ウィラードと、北側の乾草刈取りをし、2台分運ぶ。父は野菜畑の下で除草。

7月13日

乾草2台分を運ぶ。

7月15日

午前中、新しく耕した畑で除草をし、午後、果樹園の西側の乾草刈り。東側も刈取る。1月前に植えた新しい畑のとうもろこしの高さは3フィート半になった。

7月16日

果樹園のところで乾草刈り。3台分運ぶ。新しい畑のとうもろこしを、午前10時から12時まで除草。

7月17日

果樹園の北側で乾草刈り。1エーカーから乾草3台分を運ぶ。野菜畑の下のとうもろこしは開花した。野菜畑のじゃがいもは、にわたりの卵より大きくなった。

7月18日

午前中、丘の上の製材所へ行き、午後、馬車をとってくる。御者台をつくってもらい、馬に蹄鉄をはかせてもらう。きゅうりが採ってよいくらい大きくなった。

7月19日

父は屋根板にかんなをかけ、ウィラードは板を割った。

7月20日

丘の上に行き馬に蹄鉄をはかせてもらう。しなの木

注(18) ホワイト・デイジーは、じゃがいもの品種名であろう。

の木材 125 フィートをヘッド (Head) の所へ運ぶ。7
ドル。ウィラードと、さくらんぼを1ブッシェルほど
つむ。父とウィラードは新しい畑での作業を終える。

7月22日

家畜小屋の前庭の南側の乾草刈りをし、3台分とり
入れる。1エーカー半刈取った。

7月23日

牧草地の隣の東側 1 $\frac{1}{4}$ エーカーの乾草を刈取り、
3台分とり入れた。なお、朝食には新ジャがいもが出た。

7月24日

小麦畑の南側 1 $\frac{1}{4}$ エーカーの乾草刈りをし、3台分
とり入れた。

7月25日

再び北側を刈取り始め、2台分刈取り、さらに1台
分刈取る。

7月26日

父はオスウィゴへ4ブッシェルの新ジャがいもを持
って行き、ブッシェル6シル1ペンスで売る。ウィラ
ードと私は1台分乾草を刈取り、夜にようやく1台分
とり入れた。乾草刈りのすすまぬ日だった。

7月27日

ウィラードと北側の乾草刈りを2台分して終える。
5台分運び入れる。3台分すませてから、くま手でか
き、北側の土地を終える。全部で9台分、その内6台
分は、なかなか良い。夜、丘の上へ馬車を取りに行き、
メリアムへ、ジャがいも1ブッシェル運ぶ。5シル。

7月28日

11時にAへ向けて出発し、午後4時半に着く。道はぬ
かっていた。(19)

7月29日

8時頃、AのW氏の家を出て、オーバン地区 (Alburn
District) のイーライ・キャッセル (Eli Cassell) の家へ
10時半に着く。そこで食事のために休み、午後1時過
ぎ、ギレスピー (Gillespie) の製材所をまわって家へ戻
る。カスヴィル (Casville) の所からジンカー (Jinker)
の所まで5マイル、そこから製材所まで2マイル、さ
らにコーキン (Calkin) の所へ2マイル、そして家まで
6マイルあった。

7月30日

今日は曇っていて乾草作りの天候ではない。ウィラ

注(19) Aは地名の頭文字であるが、何処かは不明。

(20) 1バーチは1ロッドに等しい。16 $\frac{1}{2}$ フィート。

(21) 1束がどれくらいかは不明。但し、この場合、18 $\frac{2}{3}$ 束から脱穀して取れた小麦の量は14ブッシェルであった。8月16
日の項を参照。

ード夫婦は10時頃ピアースの家へ行き、午後8時に戻
ってきた。父と私は、ジャがいもを掘ったあとへ、タ
ーニップをまいた。

7月31日

小山の乾草を2台分刈取り、29日に刈取った果樹園
の1台分を運ぶ。果樹園の分は終り。先月15日に植え
た新しい畑のとうもろこしが開花した。

8月1日

メリアムに板500バーチを売る。ウィラードと乾草
を刈取る。

8月2日

父はオスウィゴへジャがいも5ブッシェルを持って
行き、ブッシェル6シル3ペンスで売る。少々乾草刈
りをして、1台分運ぶ。とうもろこしを3本ゆでて食
べたが、まだ十分大きくはない。

8月3日

乾草、8台分を刈取り運び込む。

8月4日

ゆでたとうもろこしと、えんどう豆を食べた。

8月5日

乾草、2台分刈取り。これで乾草刈入れは終り。全
部で34台分、但し、小さめのものもある。ジャがいも
を10ブッシェル半掘る。

8月6日

父と一緒にオスウィゴへ行き、10ブッシェル半のジャ
がいもを、ブッシェル7シルでラグズ (Ruggles)
へ売る。家を午前8時15分に出て、11時15分に戻った。
塩26ポンド半、家へ買って帰る。

8月7日

昨日の午後、ジャがいも11ブッシェルを掘り、父は
今日、オスウィゴへ売りに行く。ブッシェルあたり6
シル。彼は午前8時に家を出て、11時45分に戻る。ウ
ィラードと私は作業場で働く。

8月8日

小麦を刈入れる。18 $\frac{2}{3}$ 束 (shocks) を1ブッシェルの
種から刈入れ。(110ロッド)⁽²¹⁾

8月9日

ウィラードと作業場で樽の底板をつくる。父はオー
ト麦を刈入れ、丘へ行って馬の蹄鉄をつけてもらった。

8月10日

ウィラード夫婦はオスウィゴへ行く。ジャがいも4
ブッシェルを、ブッシェル4シル、卵8ダースを、ダ
ース11シルで売る。小麦粉の小袋49ポンドを、11シル
6ペンスで買う。父はオート麦を刈る。私は作業場で
働き、オート麦を少し刈る。

8月12日

ウィラードと午前中作業場で働き、午後3時までラ
スバーンさん (Mr. Rathburn) が家の向いで乾草を集め
るのを手伝った。後はオート麦を集めた。

8月13日

丘の上のリッチ・イースン (Rich Eason) に木材を運
ぶ。作業場で働く。

8月14日

ウィラードと作業場で働き、ラスバーンさんが乾草
刈入れを家の向う側でするのを手伝った。彼は野菜畑
の下で、とうもろこしの採り残しを集め終る。私は2
本ほど拾った。熟した西瓜を食べた。

8月15日

ウィラードと作業場で底板をつくる。父は南側での
オート麦刈入れを終り、 $\frac{3}{4}$ エーカーから24 $\frac{1}{2}$ 束を収穫
した。私はグッドセルの隣の小山のオート麦を刈取
った。

8月16日

午前中、小麦をグリッドリーの所へ運び、脱穀して
もらう。(1ブッシェルまいて、14ブッシェルとれた。) 午後
メイ (May) の所で、樽のたがをわけてもらう件を相談
した。

8月17日

作業場で働く。父は新しい畑のとうもろこしの手入
れ。小山のオート麦を収穫する。100ロッドの畑から
13束。

8月18日

新しい畑のとうもろこしは、もう食べごろの大きさ
になった。

8月19日

ウィラードと作業場で働く。樽のふたと底板をつく
り、樽板を組み合わせる。父はジャがいもを掘る。

8月20日

父はオスウィゴへ行く。4 $\frac{1}{2}$ ブッシェルのジャがい
もを、ブッシェル2シル6ペンス、5ダースの卵をダ
ース11シルで売る。ウィラードと私は底板を出し、き

れいにする。コックス (Cox) から、たが1,500本を、
3ドル75セントで買う。(1,000本あたり)

8月21日

昨夜ギレスピーの家へ行き、学校についての子算を
たててみた。ウィラードと樽16個をつくる。その内9
個は私のつくった分。

8月22日

ウィラードと樽14個をつくる。私は5個半つくり、父
がオート麦3台分を取り入れるのを手伝った (37 $\frac{1}{2}$ 束)。

8月23日

父はオート麦、小麦の刈株をすき込んでいます。ウ
ィラードと私は約9時間に、樽20個をつくり、樽板を組
み合わせた。

8月24日

ウィラードと樽を18個をつくる。ウィラードは朝の内、
バターをつくった。父は採株のすき込みを終える。

8月25日

新しい畑で、とうもろこしの採り残しを拾う。

8月26日

ウィラードと樽22個をつくる。Cのところへりんごを
もらいに行く。

8月27日

父とオスウィゴへ行く。樽90個をワイズマン (Wis
man) に1個22セントで売る。8時半に出て午後1時
に戻る。

8月28日

父と母はグレンビー (Granby) に出かけた。ウィラ
ードと、えんどう豆を取り入れ、また私は樽を10個つく
った。⁽²²⁾

8月29日

ウィラードと、えんどう豆の取り入れを終え、樽を
8個つくった。ウィラードは、えんどう豆のさし芽を
少々した。レイン (Rane) が小麦を脱穀所へ運ぶため、
荷馬車を借りていった。

8月30日

グッドセルから、いちご5ダースを買い、食卓に出
した。私は樽を10個つくり、えんどう豆を1台分運ん
だ。コックスから樽のたが300本を、1,000本3ドル
75セントの割りで買った。

8月31日

午前中にえんどう豆を運び終える。今日は2台分。
ウィラードと樽18個をつくる。私はたがを取ってきて、

注(22) グレンビーは近くの村。

樽板を組み合わせた。樽1個つくるのに41分かかった。父はとうもろこしを刈取り、牛にやる。

9月2日

ウィラードと樽20個つくる。

9月3日

ウィラードと樽25個つくり、板を組み合わせる。私は13個つくり、1個を31分で完成した。父はとうもろこしを刈取る。

9月4日

ウィラードは桃とりんごを接木する。父はとうもろこしを刈取る。私はオスウィゴへ樽91個を持って行き、ワイズマンに1個22セントで売る。カズネル(Casnell)のために小麦粉を買う。小麦粉は4ドル50セントから4ドル75セント。

9月5日

昨日からサラ・ルイス(Sarah Lewis)が、糸を紡いでくれる。樽のたがを運ぶための袋をつくった。

9月6日

アルビオン(Albion)の所へ行き、たが5,000本を、1,000本あたり3ドル25セントで買う。チャールズ・フィールド(Charles Field)へ1,000本を3ドル62セント5で売る。朝5時に出て、夕方6時半に戻った。父はとうもろこしを刈取り、ウィラードは作業場で働いた。

9月7日

樽を10個つくる。父はとうもろこしの刈取り。

9月9日

樽を11個つくる。父は丘の上へ行き、荷馬車の車輪を修理してもらった。父と一緒にジャがいも11ブッシュェルを掘った。

9月10日

父はジャがいも11ブッシュェルを持ってオスウィゴへ行き、6ブッシュェルは、ブッシュェルあたり2シル、5ブッシュェルは、同22セントで売った。樽を12個つくる。ブラックベリイをつむ。

9月11日

ウィラードと樽を16個つくる。父は野菜畑の下のとうもろこしを刈取り、運び入れた。

9月12日

野菜畑の下のとうもろこし刈取りを終えてから、畑のとうもろこしを刈取る。

注(23) ロックポートは、ナイアガラの滝に近い町。

(24) ニュー・ヨーク州には各郡に農業協会があり、それぞれ秋に共進会を開いた。

9月13日

ウィラードと樽を16個つくる。J・ラスバーンから当才の雌牛2頭を、1頭9ドル半で買入れる。父は畑のジャがいもを掘り、豚の飼料にするためゆではじめた。

9月14日

ウィラードと樽を17個つくる。サラ・ルイスは2週間の仕事を終え、今夜、彼女を家へ送って行く。先週ロックポート(Lockport)からの人が来て、樽1個26セントから27セントで買入れる契約をしていた。父はとうもろこしを刈取り、私は豚の飼料にするジャがいもをゆでる。

9月16日

ウィラードと樽16個つくる。

9月17日

新しい畑のとうもろこしを刈取る。ブラウンさんの家の横に電信柱をたてた。

9月18日

ウィラードと樽20個つくる。父はえんどう豆を脱穀する。

9月19日

オスウィゴへ樽91個を持ってゆき、メリアムに、ロックポート市場向けに1個26セント半で契約させる。樽は1個25セントから26セントで売れる。父はジャがいもを掘り、ウィラードは作業場で樽を2個つくる。

9月20日

ウィラードと樽を22個つくる。父は新しい畑のとうもろこしの刈取りを終え、ジャがいもを掘った。

9月21日

ウィラードと樽21個つくる。父はまた分のとうもろこしの刈取りを終えた。

9月23日

ウィラードと樽20個つくる。父は南側の畑から、とうもろこしを運ぶ。

9月24日

ウィラードと樽10個つくる。父はとうもろこし入れ(corn crib)をつくる。

9月25日

今日はニュー・ヘイヴンで、オスウィゴ郡農業協会の共進会。母を除き家族全員で出かけた。

9月26日

今日は、父とウィラードと一緒に、すき起し競技

(ploughing match)を見物し、マリイ会長(H.Murray)の演説を聞いた。

9月27日

オスウィゴへ樽91個を持って行き、ワイズマンに1個26セントで売る。ウィラードは底板をつくり、父はとうもろこし入れをつくり終えた。

9月28日

ウィラードと樽16個をつくる。父はジャがいもを掘る。

9月30日

今朝、軽い霜が下りたが、場所によって、つたが枯れた程度。17カ月の雌牛を屠殺した。重さは次の通り。肉344ポンド、皮65ポンド、脂肪22ポンド、計431ポンド。ハサウェイ(H.Hathaway)が4分の3(250ポンド)をポンド3セント、アレン(G.Allen)が皮をポンド4セントで引取った。ウィラードは樽3個をつくり、手にけがをした。私は樽11個をつくる。シモンズ(H.Simmons)の羊を引取る。

10月1日

父はとうもろこしを運び入れ、ジャがいもを掘る。私は樽を13個、午前6個、午後7個つくる。1個あたりの時間は次の通り。41分、42、39、52、53、41、午前中計4時間28分。午後は、35、33、37、43、38、42、34、計4時間22分。午前午後とも最初の3個は組み合わせてある樽板を使用。

10月2日

父は納屋でとうもろこしの皮むきをする。私は樽14個つくる。その内10個は前もって樽板が組み合わせてあった。昨日20個をたがにはめ、今日は12個を、仕事を始める前にすませた。

10月3日

父はとうもろこし皮むき。私は樽を11個つくり、ふた、底板をつくり、樽板を組み合わせた。また、たがをたばねた。

10月4日

ウィラードとオスウィゴへ樽92個を持って行き、ワイズマンに1個26セントで売る。小麦粉1樽を4ドル50セントで買う。私は帽子を14シルで買った。父はジャがいも掘り。

注(25) アレンは、なめし皮業者である。

(26) スピッツェンベルグ等は、いずれもりんごの品種名である。夏にとれるりんごとしては、アストラカン(Astrachan)、秋のものとして、グレイヴンステイン(Gravenstein)、冬りんごとしては、ボールドウィン(Baldwin)、グリーンング、ラセット、ピピン等が有名。

10月5日

アルビオンのところへ樽のたがを買いに行く。5,000本を、4,500本は(1,000本あたり)2ドル、500本は同3ドルで買った。帰りは、パインヴィル(Pineville)とプラスカイ(Pulaski)を通って来る。

10月7日

父は野菜畑の下のとうもろこし皮むき。

10月8日

ウィラードと冬りんごを収穫する。5ブッシュェルはスピッツェンベルグ種(sptg.)、4ブッシュェルはグリーンング種(greening)、1ブッシュェルはラセット種(Russett)、残りはオランダ・ピピン種(holland pippin)などである。父は野菜畑の下のジャがいもを掘り、とうもろこしを運び入れる。

10月9日

父はジャがいもを掘る。チャールズ・ブラウンが手伝う。穴蔵に16ブッシュェルを入れる。以前に17ブッシュェル入っている。私は樽を5個つくる。

10月10日

父はジャがいもを掘り、チャールズ・ブラウンが手伝う。私は樽を10個つくる。穴蔵へ、ジャがいも25ブッシュェル入れる。

10月11日

父は納屋でとうもろこし皮むき。私は樽9個つくる。

10月12日

樽を7個つくる。ブラウンの家へ行き、台所を建てるのを手伝う。父はとうもろこしの運び入れを終え、ジャがいも掘りも終える。

10月14日

霜が降りて、つたが枯れた。この秋、はじめての、かなりな霜である。ウィラードと樽16個つくる。父とチャールズ・ブラウンは、ジャがいもを掘り、12ブッシュェルを穴蔵へ入れた。

10月15日

ウィラードと樽18個をつくる。父はオスウィゴへ8ブッシュェルのオランダ・ピピン種のりんごを持って行き、ブッシュェル1シル6ペンスから2シルで売る。チャールズ・ブラウンはジャがいも9ブッシュェルを掘り、穴蔵へ入れる。くず穀物を買った。

10月16日

メリアムに、たが1,500本を、(1,000本あたり)3ドル75セントで売る。また、彼に60ドルを90日間貸付け。樽を18個つくる。南側の畑から茎と豆とを運ぶ。父は豆類を脱穀する。

10月17日

樽19個つくる。父は牧草地をきれいにし、牛を放牧する。

10月18日

オスウィゴへ樽90個を持って行き、ワイズマンに、1個26セントで売る。

10月19日

サイダー用のりんごを収穫する。11ブッシェル半。

10月21日

父はオスウィゴへ行き、ミルズ=ホイットニイ商店(Mills and Whitneys)で、穀物のふるいかす45ブッシェルを、ブッシェルあたり1シル6ペンスで買った。ワイラードと樽14個⁽²⁷⁾つくる。

10月22日

ワイラードはプラスカイへ利息を払いに行く。父は畑でジャがいもを掘る。私は樽を10個つくり、たがをさき、樽板を組み合わせた。6個半分つくる。

10月23日

樽を16個つくる。父は川向うから、とうもろこし1台分運んできた。

10月24日

父はオスウィゴへ、ロウ氏(N. Rowe esq.)のために荷物を運ぶ。穀物ふるいかす35ブッシェルを、ミルズ=ホイットニイ商店で、ブッシェル1シル6ペンスで買って帰る。ワイラードと私は樽を16個つくり、底板をつくる。

10月25日

ワイラードと樽14個つくる。父は穀物ふるいかす10袋を買いに行く。

10月26日

父はサイダー1樽と、穀物ふるいかすを持って帰る。ワイラードと樽16個つくる。

10月27日

昨夜中雨が降り、今日も2時まで降る。道に水があふれ、約6ロッドの幅にあふれている。地面は水にすっかりおおわれている。

10月28日

父は、穀物ふるいかすの最後の分とサイダーを持っ

て帰る。マーク(Mark)の樽を、8シルで買って来る。ワイラードと樽16個つくる。橋は柱ごとすっかり流されてしまった。

10月29日

家族の者は道路をなおし、橋をかけなおして、1フィートだけ高くした。私はオスウィゴへ樽91個を持って行き、ワイズマンに1個28セントで売る。

10月30日

ライト(Wright)から、なしの木を1本4シルで買う。ジャがいもを掘り、20ブッシェルを穴蔵へ入れる。

10月31日

ジャがいもを掘り、20ブッシェルを穴蔵へ入れる。庭の北側へ、なしの木を植えた。まず西側から植えていった。

11月1日

ジャがいも12ブッシェルを掘り、穴蔵へ入れる。とうもろこし5台分を運び入れる。

11月2日

午前中ワイラードと丘の上へ行き、ロバート(H. Robert)の所で、樽板1,500枚を、1,000枚あたり4ドル、生木のたが500本を、1,000本あたり4ドルで買う。ジャがいもを少し掘る。今日は、とうもろこし14ブッシェル(穂)を皮むきした。すでに76ブッシェル分皮むきしてある。ワイラードと私は今夜はじめて皮むきを始め、7ブッシェルずつ皮をむいた。

11月4日

とうもろこし皮むき、45ブッシェル。昼間は新しい畑の所で皮むきをし、夜は納屋でやった。

11月5日

ニュー・ヘイヴンのタウンの選挙。とうもろこし穂25ブッシェルの皮をむく。選挙へ行った後、とうもろこしの茎を積み上げる。

11月6日

新しい畑のとうもろこしを終了。20ブッシェル。納屋に同じ量、皮をむくのが残っている。茎を積み上げる。新しい畑の林のそばに2山積む。

11月7日

樽15個つくる。父は、かぼちゃを運び、雑用をする。ジャがいも20ブッシェルを穴蔵に入れ、計131ブッシェル。そのほか、すでにゆでた小粒の分が少々。

11月8日

注(27) 穀物のふるいかすは、家畜の飼料用。

父はオスウィゴへバター292ポンドを持って行く。183ポンドはポンド14セント、109ポンドは同13セントで売る。また、チーズ22 $\frac{1}{2}$ ポンドを、ポンド5 $\frac{1}{2}$ セントで売り、ジャがいも1ブッシェルを3シルで売る。小麦粉1樽4ドル50セント、鉄の輪のついた大樽(hogshead)を8シルで買って来た。ワイラードと私は樽12個つくる。

11月9日

樽16個つくる。メリアムから底板150枚を、1,000枚あたり4ドルで買う。父はかぼちゃを運んだ。

11月11日

いつもと同様に樽16個をつくった。

11月12日

樽16個つくる。フラー伯父(Fuller)が来た。

11月13日

樽16個つくる。フラー伯父に7ドル払う。

11月14日

オスウィゴへ樽91個を持って行き、マッシュウズ(Mathews)へ1個24セントで売る。それをワイズマンの所へ運んで行く。これで今シーズンの樽づくりは終了。計822個で201ドル23セント、平均1個24セント半になる。ライトから、なしの木4本を買った。3本はヴァーガリイ種(Virgaly), 1本はフレミッシュ・ビューティー種(Flemish beauty)。

11月15日

庭の下へ、ヴァーガリイ3本を植え、果物の種をまく。庭の東側から、1列はなし、1列はまるめろ(quince)、8列はりんご。父は昨日、納屋のとうもろこし皮むきを終える。15ブッシェル。

11月16日

禁酒主義の講演を聞いた後、グッドセルの家の舞踏会(ball)へ行く。ワイルダー夫人(Mrs. Wilder)に、編物35ヤード分、2ドル45セント払う。

11月18日

作業場で働く、樽板を少し切る。部屋から穀物入れを納屋へ移す。門口の庭になしの木を植える。フレミッシュ・ビューティー種のもの。

11月19日

父はオスウィゴへ行き、ジャがいも5ブッシェルを、ブッシェルあたり3シルで売る。煮沸用の大樽を5シルで買い、荒い穀物くず12ブッシェルを、ブッシェル6 $\frac{1}{4}$ セントで買って来た。ワイラードと私は、りんご

用の樽をつくった。

11月20日

ワイラードと作業場で少し樽をつくる。野菜類を取入れる。

11月21日

雪。2歳の豚を屠殺、ブラウンの棹ばかりで408ポンド、正味は400ポンド。ウィルソン(Wilson)が手伝ってくれた。彼に半分の200ポンドを、100ポンドあたり5ドルで売る。

11月22日

ワイラードと肥料を運び出す。ワイラードは、以前ジャがいもを植えた場所のターニップ9ブッシェルを掘って取入れ終る。

11月23日

ワイラード夫婦と一緒にオスウィゴへ行く。チーズ85 $\frac{1}{2}$ ポンドをポンド6セント、バター37 $\frac{1}{2}$ ポンドを同14セントでマークの店で売る。今日の取引は14ドルか15ドル。靴と雑貨を買った。

11月24日

牛にとうもろこし茎を餌として与え始める。以前にかぼちゃもやった。

11月25日

丘の上へ行き馬の蹄鉄をつけてもらう。ジャがいも14ブッシェルをオスウィゴへ運んだ。

11月26日

ワイラードと作業場で働く。ワイラードは今日22日から今朝までの間に、2ドルする刃物を盗まれた。

11月27日

父はオスウィゴへ行き、ジャがいも14ブッシェルを、ブッシェル3シル、オート麦7ブッシェルを同2シル6ペンス、豆1 $\frac{1}{2}$ ブッシェルを7シルで売った。ワイラードと私はりんごの樽をつくり終えた。合計21個。私はサルサ(sarsaparilla)を掘った。⁽²⁸⁾

11月28日

父は穂つきのとうもろこしを持って製粉所へ行った。

11月29日

ワイラードとチープ(Cheve)の土地の南側で、楓と樺の木を切る。

11月30日

ワイラードと木を切る。

12月2日

注(28) サルサは薬草。

ウィラードはオスウィゴへ、チープのために樽91個を持って行き、しっくり用の樽として1個18セントで売る。私はゴードン(Gordon)の所と村へ行って、教会の建物の件で相談。

12月3日

父はオート麦を脱穀し、製粉所へ行った。

12月4日

メソジスト教会の建物用の材木を選び出す。ブラウンとF・W・グッドゼルが下の林で手伝ってくれた。父はオート麦を脱穀。

12月5日

午前中に、セヴァーマン氏(Mr. Severman)の役牛を使って材木を選び、道路のところまで運び出した。ブラウンと私とで、午後、丘の上へ運んだ。

12月6日

父と私はオスウィゴへ行く。16 $\frac{1}{2}$ ブッシェルのオート麦を、ブッシェル2シル6ペンスでブリッグス(Briggs)へ売り、じゃがいも9ブッシェルを同2シル9ペンスで売る。ウィラードは丘の上で、教会の建物の作業。砂糖と釘を買ってきた。

12月7日

14フィートの丸太を製材所へ運び、たるき用の9本の角材に切ってもらふ。175フィートと、3枚の巾狭の板、残り15フィート。

12月9日

製材所へ丸太6本を持って行き、416フィート切ってもらふ。父はオート麦の脱穀。林の中で働く。

12月10日

馬に蹄鉄をつけてもらい、製材所に丸太5本を選び、259フィート切ってもらふ。ウィラードが手伝う。父はオート麦の脱穀。

12月11日

丸太6本を製材所へ運び、497フィート切ってもらふ。午後木材1台分をメリアムへ運び、メソジスト教会の建物を建てるのを手伝った。父はオート麦の脱穀。

12月12日

木材2台分をメリアムへ運び、丸太2本を製材所へ運ぶ。609フィート切ってもらふ。

12月13日

製材所へ丸太8本を選び、1,074フィート切ってもらふ。ウィラードは丘の上の建物の作業。

注(29) 教会堂ではなく、付属の建物のことである。

(30) 税金は不動産税。評価額は、農場価値の評価額。但し、実際に売買する場合の額とは異なる。

12月14日

製材所へ丸太7本を選び、221フィート切ってもらふ。ウィラードは丘の上の建物の作業。屋根板をのせ終え、建物の背面を完成させた。

12月16日

木材2台分をメリアムへ運ぶ。ウィラードは教会の建物の端の部分を加えた。

12月17日

ウィラードと木材6台分を家へ運ぶ。昨夜ウィラード夫婦と村の音楽学校(singing school)へ行く。オスウィゴのカーペンター(Carpenter)が先生で1晩2ドルだった。

12月18日

H・ロバートの所へ木材1コードを運ぶ。メリアムの所へ2台分運び、計5コード、コードあたり1ドル。ウィラードは林で木を切り、父は雑用をする。

12月19日

オート麦をふるい分けする。28ブッシェル取れ、あと20束残った。今シーズンのオート麦収獲量は、飼料にした分を除いて51ブッシェル半。

12月20日

父はオスウィゴへ行き、ハム30ポンド、ポンドあたり7セント、チーズ20ポンド、ポンドあたり5 $\frac{1}{2}$ セントで売る。私は丘の上へ行き、ウィルソンとメリアムとの勘定を清算した。

12月21日

丘の上へ行き、馬に蹄鉄をつけてもらふ。父はえんどう豆の脱穀。ウィラードと私は納屋で木を切る。税金7ドル38セントを支払う。評価額1,050ドル。

12月23日

昨夜から吹雪となり、今日は一層激しく吹雪いている。雪が非常に速く飛んで行く。風が非常に強いので、納屋にたどりつくまでに後を向いて息をしなければならぬほどだ。風は北東の風である。雪は1フィート位の深さだが、風が吹き上げて、吹きだまりをつくっている。知るかぎりでは最悪の日だ。雪が戸外の物を吹き流す。今日は牛を外へ出さない。羊と豚は納屋へ入れて嵐をよけさせた。父はえんどう豆の脱穀を終えた。

12月24日

雪をどける。

12月25日

丘の上の製材所へ行く。

12月26日

朝の内、豆をふるい分ける。7ブッシェル。以前にも7ブッシェルとれた。

12月28日

ウィラードと木材を運ぶ。

12月30日

丘の上のニコラス(Nicholas)の所へ行き、馬に蹄鉄をつけてもらふ。

以上で1850年の日記は終りである。なお、当時の農民の生活を実際に目で見ることのできる場所として、ニュー・ヨーク州クーバーズタウン(Cooperstown)の「農民博物館」(the Farmer's Museum)がある。これはニュー・ヨーク州歴史協会の付属博物館で、18世紀後半から19世紀前半にかけての同州の村の生活を再現しており、本日記中に出てくる道具類などの展示館も設けられている。
(経済学部助教授)